

バイオなどの新技術と学際的研究で循環的未来と地域貢献を



No. 10

2010.5

石川県立大学広報

ローズハルマン工科大学生との交流合宿



○丸山前学長受勲	2
○卒業式	2
○平成22年度入学式	3
○卒業研究発表会	3
○最終講義	3
○企業トップセミナー	4
○米国ローズハルマン工科大学生との交流合宿	4
○学生生活	5
○第5回響緑祭	5
○卒業生の進路	6
○入学試験状況	6

発行 石川県立大学広報委員会
みなさんのご意見をお待ちしています

〒921-8836 石川県石川郡野々市町末松 1 丁目 308 番地
電話 / 076-227-7220 FAX / 076-227-7410

インターネットホームページ <http://www.pref.ishikawa.jp/ishikawa-pu/> 電子メール kyoumu@ishikawa-pu.ac.jp

丸山前学長受勲

石川県立大学初代学長である丸山利輔前学長には、42年の長きにわたり、大学教育並びに学術の振興に尽力し、多数の優れた教育・研究者、技術者を養成したのみならず、大学運営への貢献、わが国ならびに世界の農林水産産業の発展に寄与した功績により、平成21年11月3日、瑞宝重光章が授与されました。



卒業式

平成22年3月21日、2回目の卒業式・学位授与式が本学体育館で行われました。

卒業生123名（生産科学科38名・環境科学科44名・食品科学科41名）一人ひとりに松野学長から卒業証書・学位記（学士・生物資源環境学）が授与され、学長から「渾身の力をもって新たな道に進んでほしい」などとの式辞、本学設置者である石川県知事からの告辞、来賓を代表し石川県議会議長の祝辞の後、在校生を代表して環境科学科3年・西尾美保が送辞を、卒業生を代表して食品科学科・横場明日香が答辞を述べました。

最後に、本学後援会長から卒業生代表の食品科学科・北祐樹に記念品（卒業アルバム）が贈られ、式を閉じた後、学科ごとでの記念写真撮影などが行われました。

その後、在校生が感謝とともに記念品を手渡したり、夕方には後援会による卒業記念パーティーと、4年間の思い出を語る一日が続きました。



入学式

平成22年4月5日、本学体育館において146人の学部新生（1年生139人、3年次編入学生4人、再入学生1人、研究生2人）と、大学院2期目の新生34人（博士前期（修士））課程を迎えて入学式を行い、新生の一人ひとりの氏名を読み上げた後、松野隆一学長が入学許可を発表しました。学部生からは食品科学科・林茉莉奈、大学院生からは食品科学専攻・西塔美希が、新生を代表して「大学の教育方針をよく理解し、学業・学術研究に励む」旨を宣誓しました。

学長の訓示、大学設置者の谷本正憲県知事挨拶、来賓として粟貫章野々市町長・佃一成石川県食品協会会長からの祝辞を受け、180人が新たなスタートをきりました。当日は、石川県土地改良事業団体連合会会長、石川県農業協同組合中央会参事、本学後援会会長にも臨席いただきました。



卒業研究発表会

4年生が、この1年間取り組んできた卒業研究の成果を発表しました。発表会は学科別に行われ、入念に準備したパワーポイントを用いて行いました。立派な研究内容に加えて、堂々としたプレゼンテーションから、学生たちのこの4年間の進歩を感じさせられました。



最終講義

平成22年3月をもって石川県立大学を退職する井東廉介教授、大山莞爾教授、金子勲榮教授、谷口肇教授、田野信博教授の最終講義が平成22年2月26日に行われました。各氏の石川県立大学への多大なる貢献に深謝いたします。



金子勲榮教授
「質問紙調査とのつきあい」



大山莞爾教授
「スーパーゼニゴケと遺伝子工学
－基礎研究と産学連携－」



谷口肇教授
「糖質研究に携わって」



田野信博教授
「この道40年
－農業機械学から地域環境情報学へ－」



井東廉介教授
「教員はんせいき」

企業トップセミナー

学生への就職の意識を高めるため、県内で活躍する企業の社長に来ていただき、就職や就職活動に対する心構え、またそのために、在学中にどのような姿勢で勉学に臨むべきかについて、セミナーをしていただきました。トップが語る現場の話に、学生たちは普段の講義以上に真剣そのものでした。



米国 ローズハルマン工科大学生との交流合宿

2年生の英語の授業の一環で米国インディアナ州ローズハルマン工科大学の学生とメールを通じた交流を行ってきました。その総仕上げとして、2月28日から3月2日まで、石川県青少年総合研修センターで合宿を行い、日米学生の共同作業で英語字幕をつけた「石川県立大学広報ビデオ」の試写会を公開で行いました。学生には英語の学習だけでなく、刺激的な国際交流体験となりました。



合宿に参加した学生の感想

●今回の合宿を通して、英語を聞くこと・話すこと、アメリカの文化を学べたことはもちろんですが、日本を紹介することで日本の文化や日本語についても改めて考えさせられた、いい機会だったと思います。たとえば日本食を食べたときに、これはどんな味が、どんなものかと聞かれた時に、日本人では当たり前の「甘辛い」味や「甘酸っぱい」味などを伝えるのが大変でした。



●話すことよりも聞き取る方が難しく、相手が自分に話しかけてくれているのに何を言っているのかが全然分からず、相手にも迷惑をかけたし、自分自身も何度も悔しい思いをしました。リスニングの勉強をして、いつかアメリカに行って彼らと電子辞書を持たずにスムーズに会話をしたいです。

●今まで中学校、高校、そして大学の授業で英語とは10年近く付き合ってきたはずなのに、いざ会話すると簡単に単語しか浮かびませんでした。留学生の方々には申し訳ない気持ちでいっぱいです。けれど、3日間の合宿を通して日本の文化や流行など、いろいろな良いところを知ってもらえたと思います。また日本に来たいと思ってくれたら嬉しいです。またこのような機会を得た時のために、自分の英語力をもっと伸ばしたいと思います。

●ローズハルマン生は皆素敵な人達ばかりで、日本人学生が分からないところを何回も説明してくれたり、気さくに話しかけてくれたりしました。「外人」というより、言葉は違うけど同じ世代の「学生」なんだと改めて感じました。

●合宿は楽しかったのはもちろんですが、自分の英語力の無さを実感させられ、少し落ち込むところもありました。でも、先生も含めた20人とはとても有意義な時間を過ごし、滅多にできない経験ができてほんとうによかったと思います。

●ローズ生と私たちはすごい違いがあるんじゃないかと不安があったんですけど一緒に生活してみると大学生ってみんなこんな感じかーとなり、親近感がわきました。ローズ生達にとっていい合宿になっているといいなと思います。



学生生活

スポーツ実技Ⅱの授業としてスキー合宿に行ってきました。

平成22年1月6日～8日
長野県、栂池高原スキー場

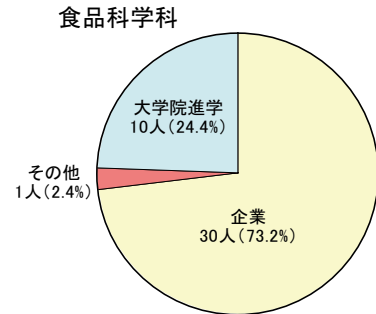
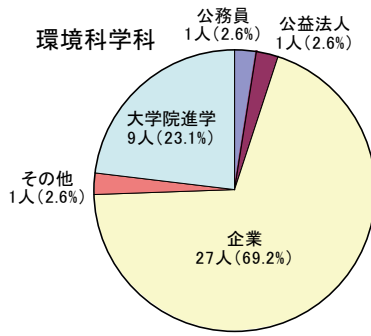
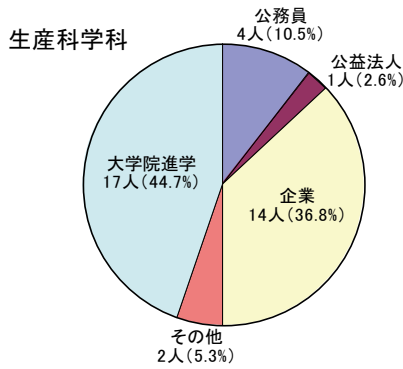


第5回 響緑祭

平成21年10月24、25日に石川県立大学の大学祭「響緑祭」が開催されました。恒例の野菜販売に加えて花苗の販売も好評でした。吹奏楽サークルやダンスサークルはこの日に備えて日々練習した成果を存分に見せてくれました。またさまざまな研究活動の紹介も活発に行われ、充実した学園祭となりました。



卒業生の進路



石川県庁、白山市役所、長野県小布施町役場、いしかわ動物園、JA全農、石川県漁業協同組合、ヤマト醤油味噌、天狗中田産業、末広製菓、京都大学大学院、東京医科歯科大学大学院、愛媛大学大学院、本学大学院など

石川県庁、JA長野中央会、天竜森林組合、中央設計技術研究所、日本海コンサルタント、ホクコク地水、プランテック、トヨハシ種苗、北國銀行、東海物産、石川県九谷焼技術研修所、本学大学院など

JA石川能登わかば、JAバンクいしかわ、三菱化学メディエンス、大正富山医薬品、松屋フーズ、ユーシーシーフーズ、佃食品、スギヨ、芝寿し、東海物産、京都大学大学院、金沢大学大学院、本学大学院など

平成22年度入学試験状況

一般入試

区分	学科	募集人員(人)	志願者数(人)	志願倍率(倍)	受験者数(人)	受験倍率(倍)	合格者数(人)	実質倍率(倍)
前期	生産科学科	22	118	5.4	107	4.8	31	3.5
	環境科学科	22	109	5	103	4.7	33	3.1
	食品科学科	22	107	4.9	100	4.5	33	3
	計	66	334	5.1	310	4.7	97	3.2
後期	生産科学科	10	161	16.1	68	6.8	15	4.5
	環境科学科	10	129	12.9	60	6	11	5.5
	食品科学科	10	102	10.2	53	5.3	12	4.4
	計	30	392	13.1	181	6	38	4.8
	合計	96	726	7.6	491	5.1	135	3.6

推薦入試

区分	学科	募集人員(人)	志願者数(人)	志願倍率(倍)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)
推薦入学A	生産科学科	6	14	2.3	13	6	2.2
	環境科学科	6	9	1.5	9	5	1.8
	食品科学科	6	11	1.8	11	6	1.8
	計	18	34	1.9	33	17	1.9
推薦入学B	生産科学科	2	1	0.5	1	1	1
	環境科学科	2	1	0.5	1	0	—
	食品科学科	2	0	0	—	—	—
	計	6	2	0.3	2	1	2
	合計	24	36	1.5	35	18	1.9

大学院第1次募集

区分	専攻	志願者数(人)	一般(人)	社会人(人)	留学生(人)	志願倍率(倍)	受験者数(人)	合格者数(人)
前期課程	生産科学	11	11	0	0	1.4	10	10
	環境科学	6	6	0	0	0.8	6	5
	食品科学	8	8	0	0	1	8	8
	応用生命科学	11	11	0	0	1.4	11	10
	計	36	36	0	0	1.1	35	33

大学院第2次募集

区分	専攻	志願者数(人)	一般(人)	社会人(人)	留学生(人)	受験者数(人)	合格者数(人)
前期課程	生産科学	0	0	0	0	—	—
	環境科学	3	3	0	0	3	3
	食品科学	1	1	0	0	1	1
	応用生命科学	1	1	0	0	1	1
	計	5	5	0	0	5	5

後期課程は出願がなかったため実施していません。

後期課程は出願がなかったため実施していません。

大学の動き

- 10月24、25日 第5回響緑祭
- 11月14日 推薦入学試験
- 1月30、31日 大学院2次募集入学試験
- 2月25日 前期日程試験
- 3月12日 後期日程試験
- 3月21日 卒業式・学位授与式
- 4月5日 入学式

<< 編集後記 >>

IPU News (石川県立大学広報) 第10号をお届けします。別れの3月、見違えるほど遅くなった学生が卒業し、また5名の教員が退職しましたが、寂しくなったのも束の間、今年も多くの新入生を迎えることができました。4年後にまた、彼らを立派に社会に送り出せるよう、また私たち教職員も彼らに負けず成長することができるよう、決意を新たにしているところです。

石川県立大学広報委員会